

あいあいあい

生活協同組合
COOP あいコープみやぎ
発行

生活協同組合あいコープみやぎ理事会
仙台市宮城野区日の出町3丁目4番17号
TEL.022-284-7241 FAX.022-284-6973
<http://www.mamma.coop>



放牧バスちゃん牛乳は、良質の原乳だからこそ出来るバスチャライズ殺菌(75℃15秒殺菌)。
生乳本来の味がそのまま残る為、青草を多く食べる初夏、干し草が多い冬など四季の変化に合わせてその風味も変わります。 撮影：2016/10/8

ながめやま牧場の牛乳には 牛たちの幸せが詰まっている！

理事 石川佳名子

山形県南西部に位置する、緑豊かな飯豊町に放牧バスちゃん牛乳のふるさと「ながめやま牧場」があります。飯豊連峰のふもとに広がる広大な牧場では、母牛と子牛合わせて約300頭がのびのび、ゆったりと暮らしています。

私達が酪農と聞いて思い描くのは広い牧草地で牛たちがのんびりと草を食べているイメージですが、残念ながら日本の酪農の多くは牛舎に繋がれたまま自由には動き回れずに輸入穀物の濃厚飼料を食べ、大量の牛乳を生産させられてるのが現状です。

本来、牛は草地に群れ、自由に草を食み、子を産み乳を出す「草食動物」です。もともと「酪農」は人間が食べられない草を牛が食べ、草が光合成によって蓄えた栄養を乳にしてもらい、人間がおすそ分けをいただく営みでした。

ながめやま牧場は東北で第一号となる「放牧畜産実践牧場」の認定を受け、真の酪農の姿を取り戻す取り組みを続

けています。牛が本来の生態に近く快適でいられるようにとアニマルウェルフェア(動物福祉)を実践し、牛は牛舎内でも繋がれる事なく1頭ごとの柵もないので思い思いの場所でリラクセスして過ごしています。

餌には地域の工場から出たウイスキーかすやおから、山形産飼料米などを与えており、牧場内で牧草や飼料用トウモロコシも栽培し飼料の自給率向上に取り組んでいます。

搾乳は1日2回、ロータリーパーラーを使って短時間で行います。濃厚飼料を沢山与え、乳量を増やすことも出来ませんが、牛へ負担がかかり寿命が短くなってしまう為、無理に乳量を増やさず、大切に育てています。

これから、寒い季節に向かいますが、牛たちの幸せがたくさん詰まった牛乳からパワーをもらい、風邪やインフルエンザに負けない元気な身体を作って行きましょう。

2016 商品学習会
秋のフォーラム

秋のフォーラムで美味しい新米や野菜を食べながら

食べもののことをちゃんと考えよう。
生産者の努力を知ろう。

①優ぶらんどをめざす「産直産地の今」をお伝えします

あいコープの産直米はネオニコチノイド系農薬を使っていません。野菜や果物も更なる農薬削減を目指しています。化学肥料や農薬に頼らず、優ぶらんどの栽培基準達成に取り組む産直生産者の努力を知るために、今年は「食と農」をメインテーマに地区委員会は活動しました。7、8月には七郷みつば会、大郷みどり会、迫ナチュラルファームを親子で訪問し農作業も体験しながら産地の課題を学びました。

秋のフォーラムでは、生産者の努力のたまもののお米や野菜をいただきながら、地区委員が産地で学んだことを組合員のみなさんにお伝えしたいと思います。お友達を誘って気軽にご参加ください。



②開発中の食パンの試食もあるよ!



秋のフォーラムの中で食パン開発の進行状況を報告し、これまで学んできたことの発表をします。そして、試作品を試食して

いただきます。あいコープの2020年ビジョンに基づいて生まれる初めてのPB商品。地元みやぎの材料で「パン工房わはわ」の利用者さんが愛情こめて作ってくれる、あいコープの、あいコープによる、あいコープのための食パンは、まだまだ成長途中。組合員の「こう育て」の音がたくさん集まるほど「皆に長く愛される美味しい食パン」に育ってくれるはず。アンケートにご協力をよろしくお願いたします！（食パンプロジェクト）

みなさんのご参加をお待ちしています! どの会場でも参加する事ができます。

下記の日時、会場にてフォーラムを開催いたします。各地区で配布しているチラシにて参加お申込みください。あいコープホームページからもお申し込みができます。、お電話でのお申込み・お問い合わせも受け付けています。

あいコープホームページ <http://www.mamma.coop/> TEL 0120-255-044 (担当 豊嶋)

日にち	ところ	地区	企画内容	定員
11/15(火)	七郷市民センター	若林	美味しい、楽しい学べる秋のランチ	20名
11/16(水)	木町通市民センター	青葉A	新米とごはんに合うお弁当作りのコツ	20名
11/16(水)	日立システムズホール仙台	青葉B	新米と旬の根菜料理	15名
11/17(木)	宮城野区中央市民センター	宮城野	新米とあったかおでん♪	20名
11/17(木)	岩沼市岩沼中央公民館	仙南	新米と秋の根菜・キノコのおかず	20名
11/22(火)	中田市民センター	太白	秋の味覚を楽しむ! 新米×ごはんのおとも	25名
11/22(火)	桂市民センター	泉A	ケーキ寿司!	20名
11/25(金)	桂市民センター	泉B	WE ♡お米～秋の味覚を食べつくそう～!	25名
11/29(火)	利府十符の里プラザ	しおさい	新米と塩麹鍋	20名
12/ 1(木)	石巻市総合福祉会館みなと荘	石巻	石巻おすすめオカズで、ガッツリ新米食うべ!	20名

* 時間は午前10時～午後1時です。
* 参加費はいずれも500円です。

新たに2アイテムが あいぶらんどの仲間になりました



あいぶらんどマークは品質・産地・利用の3つの視点、つまり【美味しさ、素材の良さ、安全・安心な品質】【産地消と旬、志のある産地】【みんなに利用してもらいたい商品】であることを認められた商品につけられます。今年もあらたに2品が組合員の支持を受けて、あいぶらんどの仲間に加わりました。

もぐもぐミニウィンナー



昨年9月にスタートした『皮なしウィンナープロジェクト』から誕生しました。W a! わぁ祭りや組合員交流会での試食とアンケートなどで開発に携わった組合員さんは延べ1000名です！ネーミングも組合員さんからの応募で決定しました。原料となる豚肉は、食べている餌までわかる『じもとん』。お弁当にもぴったりサイズということで毎週多くの組合員さんにご利用いただいております。

こだわりの麺つゆ

従来品の「こだわりのつゆ」と「べんりなつゆ」の用途を明確にし、麺類をいただくつゆとして「より使いやすく」そして「より美味しく」改良されたのが「こだわりの麺つゆ」です。試行錯誤を繰り返して「節」の量を増量してタシの風味がぐっと強くなりまし。温冷どちらにも使える麺つゆとして、組合員の皆さんに愛される商品になっていきます。



組合員・生産者・職員が
一緒に作って食べる『あいごはん』
レシピも豊富で美味しい！



10月19日天童果実同志会を招いて
青葉A地区の『みんなであいごはん』

昨年に引き続き、あいぶらんど運動推進委員会主催の「みんなであいごはん」企画を10月までに7地区で開催しました。

「みんなであいごはん」では、あいぶらんど商品とその生産者と一緒に様々なレシピで味わいながら交流します。組合員にとっては、作り手から直接あいぶらんど商品のこだわりや開発の話聞くことができ、その使い方もいろいろ学べるお得な企画です。そして生産者にとっては、自分がつくった食材を普段から食べている人と直接話ができる、またとない機会。職員も参加して一緒に調理しながら組合員活動を体験し、そこで学んだことをレポートにまとめ（毎回、力作ですよ！）『あいぶらんど通信』に掲載しているののでぜひお読みください。

これから、太白、若林、泉Aの3地区で開催を予定しています。みなさんの参加をお待ちしています。



撮影：山本末補

インドネシアの粗放養殖エビ

エコシュリンプ

産地訪問記

あいコープは地産地消を基本としていますが、国内での生産が難しいものはフェアトレード品を扱っており、インドネシアの粗放養殖エビ「エコシュリンプ」もその一つです。産地の国内外を問わず、生産現場や生産者のことをしっかり知って、持続可能な生産を応援するのがあいコープ。今年8月、あいコープの後藤洋文職員(商品部水産担当)がエコシュリンプを開発してきたオルタートレードジャパンと共に現地視察をしてきました。

エコシュリンプが始まった背景

1961年輸入自由化以降、日本のエビ消費量・輸入量は急増し、世界一のエビ消費国になりました。その多くは東南アジアから輸入され、東南アジアでは日本向けのエビを作るために、マングローブの大規模な伐採が行われ、大きな環境問題になっていました。マングローブは地域の漁民を支える魚を育てる環境でもあり、それが破壊され、大きなエビ養殖場に変えられ、地域の漁民は生活の糧も奪われています。さらに養殖エビでは人工飼料や抗生物質が多用され、エビの病気や環境汚染の心配なども高まりました。エビ加工工場では保水剤や変色防止剤などが使われているのですが、その実態がわからず、消費者の側の心配も大きくなっていました。そのような中、エビの引き起こす問題を取り上げていた生協や団体の消費者からは安心して食べられ、産地に負荷をかけないエビが求められていました。

エコシュリンプと一般的な養殖エビとの違い



一般的なエビの多くは、森林を伐採するなどして人工的に作られた狭い池に多くのエビを養殖する“集約型養殖”で人工飼料や抗生物質が与えられ、短期間で多くのエビを生産します。一方、エコシュリンプは土・水・風など周囲の環境を創意豊かに利用した“粗放型養殖”で、川や海から入り込んでくる他のエビや魚なども共存し、広々とした池の中でプランクトンなどを食べてゆっくりと成長します。

エコシュリンプは土・水・風など周囲の環境を創意豊かに利用した“粗放型養殖”で、川や海から入り込んでくる他のエビや魚なども共存し、広々とした池の中でプランクトンなどを食べてゆっくりと成長します。



エコシュリンプにも 気候変動の影響が...

エコシュリンプは、インドネシアのシダルジョ、グレスック、ピンラン3県のご当地を持った生産者が、その地域の自然の力を最大限活かした粗放養殖で育てたエビです。

今回の視察では、直接話さないと知ることのできない生産者の生の声を聞くことができ、温暖化の影響なのか、乾季と雨季がずれてきていて、飼育が思うようにできないことや稚エビ不足に悩まされていることなどもわかりました。



後藤職員が エコシュリンプの収穫を体験しました！



プラヤンと呼ばれる籠にエビが自ら集まるしかけ



お、重い...



広～い養殖池の中を手で探りながら進むと...



...実は一匹も捕れなくて掴ましてもらったのでした...



まま通信を持って生産者と記念撮影

現地で「見た」「知った」「聞いた」情報をまま通信で組合員の皆さんにしっかり伝えて行きます!!

商品部水産担当 後藤洋文

エコシュリンプ産地の1つ、シダルジョ。ここでは“プラヤン”という漁法で収穫していました。物に沿って歩くエビの習性を利用した漁法で、エビが自ら仕掛けの中に入っていくので、最小限の動力で目づ、エビを傷めずに収穫できる利点があるそうです。実際に私も収穫体験をさせていただきましたが、思った以上に重く大変でした。



エコシュリンプの飼育～収穫～加工まで見てきました！



商品部水産担当 後藤洋文

エビの飼育・池の管理



稚エビは購入し、池に放流。潮の干満を利用して、池の水の調節・交換を行います。ガンガンと呼ばれる水草を発酵させて、プランクトンを発生させ、エサにします。人工飼料を与える必要はありません。



監査



ATINA[®]が養殖池の現地確認、生産者・池管理人・集荷倉庫管理人とのコミュニケーションを通して、監査活動を行っていました。

収穫



竹で編んだ籠を設置したり、ポンプ、人力、網など地域によって収穫方法は様々です。

集荷



収穫後、氷詰めし、バイクや船、車などで厳重に運搬。最終的にATINA工場(シダルジョ)へ運ばれます

シングルフローズン



厳しく衛生管理されたATINA工場です。サイズごとに分け、一尾ずつバラ凍結。産地でバックされ凍結したエコシュリンプが日本へ船便で運ばれ、シングルフローズン(産地一回凍結)のまま組合員のもとに配達されます。

この工場には、敷地内にBMW技術を応用した排水処理プラントがあるんです！



報告 9/22「さようなら原発 さようなら戦争 大集会」@代々木公園

9月22日、東京の代々木公園で「さようなら原発 さようなら戦争 大集会」が開催され、降りしきる雨の中でしたが、9500人もの人々が集いました。あいコープみやぎ理事会と脱原発エネシフ委員会からも3名(プラス子ども2名)が参加しました。パルシステム、生活クラブやグリーンコープ等の仲間と共に、原発を止め戦争を止めようと呼びかけました。



連載

BM全国大会に向けて あいコープ BMの人々

「環境に感謝！」あの震災の一年前、私が就農した時、もうその環境がありました。

あいコープさんの栽培基準とBMW活性水を使用した農法。みつば会の先輩達が先生。それが当たり前の中、農業を始めました。震災後の今、我がクローバーズファームには、あいコープさんのご支援で作って頂いたBMプラントがあります。BMの活用は、トマトや葉菜類の定植時のドブ漬け、トマトへの灌水時の混入、堆肥への原液散布等...特に定植時に使用すると、びっくりするぐらい根張りが良くなります。このような素晴らしい環境がある中、我々はまだまだ、使いこなせていません。11月の「BMW全国大会」を機に、BMW技術をもっともって勉強して、この地での循環型農業を目指し頑張ります。



七郷みつば会 細谷滋紀

わだいの たねまき



始めよう！続けよう！

石けん生活

石けん環境委員会

『プラスチックゴミ』を減らしていきましょ



8月に石けん委員会の親子でバスボム作りをしました。作業をする前にプラスチックゴミに関するスライドを見て問題を学び、どうしたらプラスチックゴミを減らせるかを親子で一緒に考えました。

た。外出する際に、ペットボトルの飲み物を買わずにすむように水筒を持って出掛けたり、繰り返し使える容器を使うなど様々な意見が出ました。フランスでは今年の7月からレジ袋が全面禁止になり、プラスチックの使い捨て容器も今後禁止になることが決まりました。そうは言っても今の日本でプラスチックゴミを出さずに生活をするというのは非常に難しいのが現状です。フランスのように世の中の仕組みそのものが変わらなれないとできないこともあると思いますが、一人一人ができることから意識や行動を変えて行くことによつて、少しずつゴミを減らすことができるのではないかと思います。

後日、9月定例会の時にそれぞれ親子で話し合ってきた意見を出し合い、プラスチックゴミについて話し合いを行いました。

皆さんもできることから始めてみませんか？

石けん環境委員 安達紀伊

9/15 (木)

農法研究会 土壌学習会報告

努力を続けるあいコープ生産者 改めて頭が下がります



9月15日、大郷町開発センターであいコープ農法研究会による土壌学習会が開かれました。県内産直産地(大郷・七郷・迫・秋保ゆうきの会)をはじめ山形の天童果実同志会などが集まり、生産者の農作業をお手伝いしているあい農委員も午前中のみどりの作業の後、参加しました。

初めの講演は秋山澄兄氏の『BMW技術の基礎』でした。水の自然環境をモデルとしたBMW技術が農業や環境浄化、暮らしの中で活用されており、特に農業分野で病害虫が発生しにくく広がりにくいなどの効果が期待できるそうなので、農薬を減らせるのではと思いました。

二つ目の講演は川田肇氏の『豊かな土壌作り 土壌の物理性と堆肥について』。圃場の土壌の問題点を堆肥の投入などで改良できることでした。最後に、大郷の生産者西塚さんのトマトハウスで土を掘り、硬さなどを調べました。土の硬さにより根の張りが違うそうので、根張りが良いと生育がよくなり、生産性が上がるとのことです。

このように勉強会に参加し、日々努力されている生産者の皆さんに、改めて頭が下がりました。

あい農委員 菊地久子

理事会議事録抄

2016年 10月4日(火)

▼ジョイケアの収支モデル案を検討した。▼「ストレスチェック制度実施規程」制定を承認した。▼2016年度の新しいぶんど商品2品を選定した。▼ジョイケア講座「相続と遺言書について」学習会企画書を承認した。▼原発のない社会を目指して映画祭「アトムとピース」上映会企画書を承認した。▼Wa!わあ祭り実行委員会からの報告と提案を承認した。▼「イベントと組合員活動の連携」関連の報告と提案を承認した。▼熊本地震支援金の決算報告を承認した。

組織概要

(2016年9月分)

【組合員数】	12,896名
【供給高】	199,174千円
【一人実利用高】	4,986円/週
【出資金】	1,091,054千円



●あいコープは本音で話せる仲間がいるから好き！ママ友とは話せないこともしっかり話せる！ 仙南・佐藤さん

即効性より環境を考えて
暮らしの中でB M 活性水を活用したい



プラントの模型でB MW を説明をする
講師の秋山澄児(すみえ)氏

10月5日、日立システムズホールにおいて「B MW の世界へようこそ」と題して、約40名の参加で学習講演会を開催しました。B MW 技術協会の秋山澄児さんに「B MW 技術とは何か」ということから、家庭での活用の仕方までお話しいただきました。

近代の発展とともに、化学肥料や農薬の多用による土地の疲弊、畜産規模の拡大による悪臭やハエなどの問題が出てきました。B MW 技術はそれらの問題を、自然生態系の浄化作用に学び再現することで、元の自然循環の環境に戻すものと教えていただきました。微生物(バクテリア)の分解の力によって岩石(ミネラル(M))を水(ウォーター(W))の中に溶かし出し、ミネラルバランスに優れた、生き物にとつて「良い水」を作り出す、自然の仕組みのすごさを改めて感じました。

家庭の中でも、B M 活性水をペットの飲み水や水槽に入れたり、生け花や鉢植えの水やりに使ったり、いろいろな使い方ができるそうです。薬剤のような即効性はないけれど、体と環境にいいB M 活性水を生活の中でもどんどん活用していきたいと思いました。

理事 原子良恵



ながめやま牧場に行ってきました!



10月8日(土)に組合員さんとながめやま牧場に行ってきました。当日は雨模様の中、子どもを含め60名と多くの方に参加していただけました。行きのバスの中で私はクイズを担当し、初めての事で緊張しましたが、子ども達が積極的に参加してくれてとても助かりました。牧場に到着後、グループに分かれて見学スタート。盛り上がったのは、子牛のミルクあげ体験でした。子牛の方からミルクを飲み近くに近づいて来るので子ども達もすごく喜んでいました。ながめやま牧場では、健康的なお乳を出してもらうために、牛にストレスを与えないよう日々取り組んでいると伺いました。私は普段、組合員さんに牛乳やヨーグルトを届けていますが、初めて生産者の声を実際に聞くことが出来るととても貴重な体験になりました。 事業部職員 佐々木弘大

編集後記

与党が衆議院で10月中旬にTPP国会承認をさせようと強硬な姿勢をとっています。TPPの内容をちゃんと理解しようとしても、普通のおばさんにはなかなか難しい。ただ、たくさん問題点があるというところだけは分かります。なぜ、こんなに疑問視されているのに、耳を貸さずとしてくれないのでしょうか。よくわからないけど、巨大なマネーが環太平洋で飛び交うより、私たち一人一人が人間らしくいられる社会をつくる方が、幸せだと思っちなあ。

広報担当理事 高野 恵美子

●機関紙あいあいあいの「ご意見・ご感想」

組合員番号、氏名、電話番号をお書きの上、
配送もしくはFAX (022-284-6973) にて、
あいコープみやぎ理事会広報宛にお送り下さい。

組合員の皆さんの『つばやき』も大募集中!

ジョイケア
NEWS

ジョイケアシステムは、あいコープみやぎ独自の地域福祉政策で、組合員全員の拠出金(100円/月)によって成り立っている助け合いの仕組みです。社会福祉法人「みんなの輪」、NPO法人「よつてがいん」、ビッグイシューへの支援など、地域福祉にも役立てられています。

個人で利用できるサービスもあり、組合員同士の助け合いやケアメイトによる集団託児なども多く利用されています。

組合員が利用できる電話相談

- 11/8 年金相談
相談員：社会保険労務士 兵藤政行氏
相談時間：13:30～15:30
- 11/8 法律相談
相談員：弁護士 松澤陽明氏
相談時間：13:30～15:30
- 11/15 ぐらしの相談
相談員：消費生活専門相談員 加賀淳子氏
相談時間：10:30～12:30
- 11/15 子ども相談
相談員：宮城教育大学教授 菅井裕行氏
相談時間：10:00～12:00
- 11/18 思春期相談
相談員：臨床心理士・スクールカウンセラー 北條貴子氏
相談時間：9:30～11:30

電話相談のお申込みは
ジョイケア事務局へ

受付専用
022
284-7277

平日 9:00～17:00

◎各相談窓口前週の金曜日までに予約して下さい。随時受け付け可能です。

◎予約して頂いた方には、相談日に相談員からお電話します。

ジョイケア利用状況
(2016年8月分)

ささえあい(保障)	0件
たすけあい(ケア)	40件
集団託児	14件
慶弔・出産	14件
電話相談窓口	2件
計	70件

組合員が個人で
利用できるサービス

- | | |
|---------|---------|
| 1 たすけあい | 4 ささえあい |
| 2 集団託児 | 5 慶弔 |
| 3 電話相談 | |



●あなたの願いを、あいコープに乗せて夢に向かって一緒に歩いていこう!

若林 ちかりん

ネオニコチノイド系農薬不使用の園地見学交流バスツアーを開催しました

2011年に始まったあいコープのネオニコ排除の取組み。天童果実同志会では2013年からリンゴで実験をはじめ、翌年から全ての果物をネオニコ不使用で栽培しています。9月23日、35名の組合員が現地を訪れ、ネオニコ完全排除から3年目の園地を見学しながら、現在直面している問題などをお聞きしてきました。今年は特に『黒星病』の蔓延に悩まされているようで、黒い斑点ができてしまったリンゴが多いのですが、組合員には現状を説明しある程度斑点があっても供給することになっています。見学の後は、生産者一人ひとりのお話を聞きながら山形芋煮とぶどうをおなか一杯頂き、天童果実同志会の皆さんとその果物をもっと応援しよう、と思えたバスツアーでした。



特裁、ネオニコ不使用栽培の難しさを聞く



黒星病の「玉林」(左)、鳥害、尻腐れ(右)など様々な問題と向き合っています



ワタムシはガスバーナーで駆除



これからも天童果実同志会を応援します!!



(合)天童果実同志会のみなさん

後列 左から2人め 片桐雅人さん

天童果実同志会では、生産者11人のうち20代、30代が5人おり、昨年片桐唯一代表の息子の知宏君も農業をはじめ、新しい仲間が増えました。果樹の話に関わらず、様々な意見や相談ができ、同世代の仲間が多いのは心強いです。

今年で全品目、全圃場でのネオニコチノイド不使用を実践して3年目になりました。今までいなかった害虫が発生したりと、難しさを実感しました。以前は個々で行っていた土づくりを同志会全体で取り組み始めました。土壌分析をし、勉強会を行っています。まだ始めたばかりですが少しずつ自分たちが納得のできるような果物が作れるよう努力していきたいです。これからも組合員の皆様に美味しい果物をお届けできるように頑張ってまいりますのでよろしくお願いします。

天童果実同志会 片桐雅人

Calendar

今後のイベント

11/15(火) ~ 12/1(木)

2016 商品学習会秋のフォーラム

優ぶらんどを目指して挑戦している生産者のお米とお野菜食べに来てね

全10地区で開催。詳しくは本紙2ページをご覧ください

11/18(金) ~ 19(土)

震災から5年、

「土」「人」「もの」「地域」作りについて考える
~自然環境を基本とした東北の再生を願って~

第26回BMW技術全国交流会

場所/ ホテル松島大観荘

12/3(土)

福島原発事故から5年—
チェルノブイリと福島の放射能汚染を考える

今中哲二氏講演会

場所/ 戦災復興記念館 記念ホール
時間/ 13:00~16:00 参加費/無料
あいコープみやぎ・放射能問題支援対策室いずみ 共催

12/7(水)

ジョイケア企画
「争族」にならないために
知っておきたい相続・遺言

場所/ 日立システムズホール エッグホール
時間/ 10:00~12:00 参加費/無料

12/13(火)

脱原・エネシフ委員会
『アトムとピース』上映会

場所/ 仙台メディアテーク スタジオシアター
時間/ 10:00~12:00 参加費/組合員500円

地区委員さん募集中!
一定例会見学も受付中—

地区委員会は

楽しい!
おいしい!
学べる!!

あいコープの仲間だから
本音トークができます。



お問い合わせ先

☎ 0120-255-044

Fax 0120-849-324

Email soshiki@mamma.coop

(担当: 組織運営室長 豊嶋)